

## 第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年9月25日(木) 5校時  
児 童 男子8名 女子14名 計22名  
指導者 関根孝男

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう  
教材名 アップとルーズで伝える(説明的文章)  
四年三組から発信します/選んで伝える

### 2 単元について

第3学年及び第4学年の「読むこと」領域の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」ことである。本単元では、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと」(読イ)と、「目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要などころは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」(読オ)を主たる目標としている。

本教材は、わたしたちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像が、送り手の意図により取捨選択されたものであることを、基本的な映像技法である「アップ」と「ルーズ」を中心に述べたものである。子どもたちにも身近に感じられる内容であり、実際に確かめることも容易である。また、「アップ」と「ルーズ」について写真と呼応させながら対比的に分かりやすく述べられており、中心文や重要語句を見つけやすい。さらに、Ⅰ問題提起(①②③)Ⅱ説明(④⑤⑥)Ⅲまとめ(⑦⑧)という典型的な説明文の構成になっているため、段落相互の関係を考えながら読み取るのにも適した教材であると考えられる。

児童は、3年生で『段落』ということ、一つの段落に一つの事柄が書かれてあることについて学び、4年生になって『『かむ』ことの力』で段落の中心となる語や文をとらえて要点をまとめたり、段落相互の関係を考えたりする学習をしてきている。

説明的文章を読むにあたり、文章の要旨の理解、接続語については比較的理解が進んでおり、指示語の内容をとらえたり、段落相互の関係を考えたりする力も身に付いてきている。しかし、自分の力だけでは、中心語句や中心文を見つけたり要点をまとめたりすることが難しい児童もおり、個々の能力には差がある。また、友達の意見と比べて発言する力や主題に対する自分の考えをもちながら読み進めたりする力はまだ十分とは言えない。

児童の国語科に対する意識を見ると、8割弱がどちらかというとも楽しいと感じており、学習の仕方についても理解している児童が多い。音読や読書も好きな児童が多く、国語に対しては全体的に前向きに取り組んでいる。ただ、楽しくないと感じている児童も若干おり、進んで発表をしようとする児童は半数ほどである。したがって、児童にどのように学習に関心をもたせ、意欲を持続させながら学習に取り組ませるか、そして、国語の学習の仕方をどのように身につけさせるかが課題となっている。

指導にあたっては、グループごとに題材を選び、情報を収集し、学習発表会での地域への発信として「わたしたちの七ツ森」をつくることをゴールとし、自分の伝えたいことをよりよく伝えるためにはどんなことが大切なのかという視点で文章を読ませていく。「アップ」と「ルーズ」という撮影の技法を通して、伝えたいことがよりよく伝わる観点、集めた情報の取捨選択の大切さ等を確かに読み取らせたい。そのために、中心文や中心語句、指示語、接続語などにサイドラインを引く活動を行い、対比・まとめという文章構成により段落相互の関係がとらえやすくなっていることにも着目させながら文章構成図にかき表していきたい。また、説明的文章の内容理解だけにとどまったり、形式的に言語事項のみを確認したりするのではなく、両者の調和を大事にしながら授業を進めていきたい。そして、児童の読みの力を高めるために、毎時間の音読では、読みの視点を明らかにしてその評価をはっきりと伝えたり、全文音読を取り入れ全体を見ながら部分の学習活動を進めたりしていきたい。

### 3. 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・段落相互の関係を考えながら文章を正確に読み取ろうとする。
- ・知らせたいことを決め、必要な材料を集めて読み手が分かりやすい記事を書こうとする。

(2) 書くこと

- ・取材したことを相手に分かりやすく書いて知らせることができる。 (書く ア)
- ・相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書くことができる。 (書く イ)

(3) 読むこと

- ・段落の役割をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章を正しく読み取ることができる。 (読む イ)
- ・対比やまとめなどによる段落のまとまりを理解したり、写真と対応した部分に注意して細かく読み取ったりすることができる。 (読む オ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・文章全体における段落の役割を理解することができる。 (言語 オ(イ))

### 4. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落相互の関係を考えながら文章を正確に読み取ろうとしている。</li> <li>・知らせたいことを決め、必要な材料を集めて読み手が分かりやすい記事を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取材したことを相手に応じて分かりやすく書いている。</li> <li>・相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の役割をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章を正しく読み取っている。</li> <li>・対比やまとめなどによる段落のまとまりを理解したり、写真と対応した部分に注意して細かく読み取ったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章全体における段落の役割を理解している。</li> </ul>

### 5. 単元の指導計画 (18時間 読7時間 書11時間)

		主な学習内容	評価規準と評価方法
第一 次 見 通 す	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたしたちの七ツ森」というテーマで地域に発信することを知る。</li> <li>・教材文を通読し、文章の内容を大きくつかみ、初発の感想を書く。</li> <li>・新出漢字の練習、難語句の意味を調べる。</li> </ul>	関 学習に意欲をもち、教材文を読もうとしている。 (発言・態度) 読 「アップ」と「ルーズ」について大まかにとらえ、初発の感想をもっている。 (発言・ワークシート) 言 文脈に沿った語句の意味を調べ、まとめている。 (ワークシート)
第二 次 た て る	2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想をもとに、学習計画を立てる。</li> </ul>	関 感想や疑問点を交流しあいながら、学習計画を立てようとしている。 (挙手・発言) 読 段落のつながりを考えて、大きなまとまりをつくり、学習の見通しをもっている。 (発言・ワークシート)

第三次 深める	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真と文章の関係を考えながら、①②段落を読む。</li> <li>①②段落と③段落の関係をとらえる。</li> </ul>	<p>関 写真と文章を関連付けながら読もうとしている。(発言・態度)</p> <p>読 段落相互の関係を考えながら「アップ」と「ルーズ」の意味を読み取っている。(発言・ワークシート)</p>
	5 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真と文章の関係を考えながら、④⑤段落を読む。</li> <li>④⑤段落と⑥段落の関係をとらえる</li> </ul>	<p>関 写真と文章を関連付けながら読もうとしている。(発言・態度)</p> <p>読 段落相互の関係を考えながらアップとルーズには伝えられることと伝えられないことがあることを読み取っている。(発言・ワークシート)</p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦⑧段落を読み、筆者の言いたいことを捉える。</li> </ul>	<p>関 筆者が伝えなかったことについて、積極的に話し合っている。(ワークシート・話し合いの様子)</p> <p>読 アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることを読み取っている。(発言・ワークシート)</p>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落の役割をとらえて文章全体の構成をつかみ図にまとめる。</li> </ul>	<p>関 文章全体の構成を図で表そうとしている。(ワークシート)</p> <p>読 段落の役割をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章を正しく読み取っている。(発言・ワークシート)</p>
第五次 ひろげる	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>「四年三組から発信します」を読み、活動の見通しを持つ。</li> </ul>	<p>関 教材文から読み取ったことをもとに、知らせたいことを発信するために必要な材料を意欲的に集めようとしている。(発言・態度)</p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書作例の工夫に気づき、取材の仕方、まとめ方を知る。</li> </ul>	<p>書 知らせたいことや相手を決め、どんな形で発信するのかを考えている。(発言・ノート)</p>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>取材することを決め、自分たちのまとめ方のイメージを持つ。</li> </ul>	<p>言 表現するために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べている。(態度・ノート)</p>
	11 12 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り上げる題材を決め、取材する。</li> </ul>	
	14 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料を選び、記事を書いたり割り付けしたりする。</li> </ul>	<p>関 記事の校正や割り付けをグループで協力しながら行っている。(態度)</p> <p>書 取材したことを相手に応じて分かりやすく書いている。(原稿)</p>
	16 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>清書し、仕上げる。</li> </ul>	<p>関 他のグループの意見も取り入れながら、意欲的に作業に取り組んでいる。(態度)</p> <p>書 相手や意図に応じて写真や材料を選び、分かりやすくまとめている。(原稿)</p>
	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示された作品を見て、工夫点などを述べ合い、情報の選択について感想を書く。</li> </ul>	<p>関 相手や意図に応じた情報の選択について、自分の考えをもっている。(発言・態度)</p> <p>書 学習の視点に沿って自分たちの活動や他グループの作品に感想を書いている。(感想カード)</p>

6. 本時の目標

(1) 目標

段落相互の関係を考えながら、アップとルーズには伝えられることと伝えられないことがあることを読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動 ○主発問	教師の働きかけと予想される反応	個への支援と評価の観点 (方法) ・留意点
つかむ 5分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">なぜ、アップとルーズで伝えるのだろう。</div>	<p>1 前時の学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2枚の写真の説明が①②段落であること、③段落は①②段落のまとめであることを確かめる。</li> <li>・ 「アップ」と「ルーズ」の意味を確かめる。</li> </ul> <p>2 学習課題を学習計画表に基づいて提示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示物をもとに段落関係や、「アップ」と「ルーズ」の意味を確かめる。</li> <li>・ 前時で読み取った「アップ」と「ルーズ」について、本時ではその違いを読み取っていくことを確認し、学習の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>
考える 15分	<p>3 学習場面を音読する。</p> <p>4 アップとルーズの違いを読み取る。</p> <p>○アップとルーズのそれぞれの分かること、分からないことにサイドラインを引きましょう。(一人学び)</p> <p>○アップとルーズの違いをまとめましょう。</p>	<p>3 学習場面(④⑤⑥段落)を音読させる。</p> <p>4 アップとルーズの違いを表にまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アップ、④段落、ゴール直後のシーン。</li> <li>・ ルーズ、⑤段落、試合終了直後のシーン。</li> <li>・ 分かるところに実線、分からないところに波線でサイドラインを引かせる。</li> </ul> <p>アップ：◎細かい部分の様子 △うつされていない多くの部分</p> <p>ルーズ：◎広いはんいの様子 △顔つき、視線、気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表を整理しながら表にまとめていく。</li> <li>・ ⑥段落では目的に応じて切り替えていることも確かめる。</li> </ul>	<p>支 音読は読みの視点を与え、段落ごとに指名読みをさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拡大した写真を提示し、始めに2枚の写真の撮り方、段落、場面を確かめる。</li> </ul> <p>支 「分かります」「分かりません」という言葉に着目させるが、具体例まで引いていてもよいこととする。</p> <p>評 写真と照らし合わせながら読み取り、サイドラインを引いている。(態度・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接続語「しかし」「でも」に着目させ、その前に「分かること」、その後に「分からないこと」が書かれていることもとらえさせたい。</li> </ul>
深め 20分	<p>5 別の写真の説明を考える。(学び合い)</p> <p>○次の写真から、分かることと分からないことを考えましょう。</p> <p>○グループごとに写真の説明をしましょう。</p>	<p>5 グループごとに2枚の写真を選び、それに説明を付けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然の風景</li> <li>・ 動植物</li> <li>・ 事件事故など</li> </ul> <p>「こっこの(アップの)写真では～」</p> <p>「こっこの(ルーズの)写真では～」</p>	<p>支 それぞれの写真の分かることと分からないことを具体的に考えさせたい。難しい場合はどちらか一方でも良いこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明する側、聞く側それぞれに視点をもたせる。</li> </ul>

	<p>6 読み取ったことの確かめをする。</p> <p>○なぜアップとルーズで伝えるのか分かったことを書きましょう。</p>	<p>6 ④⑤⑥段落で読み取ったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに記述させる際、3つの書き出しを提示し、板書にはキーワードになるものが残るようにしておく。</li> </ul>
<p>具体の評価規準</p> <p>A：アップとルーズには伝えられることと伝えられないことがあることを読み取り、キーワードに着目しながら簡潔に書きまとめている。(ワークシート)</p> <p>B：アップとルーズには伝えられることと伝えられないことがあることを読み取り、書きまとめている。(ワークシート)</p> <p>Cへの支援：板書をもとに、教師と一緒にワークシートにまとめていく。</p>			
<p>まとめる 5分</p>	<p>7 学習のまとめをする。</p> <p>8 次時の学習について確認する。</p>	<p>7 本時をふり返って感想を書き、まとめの音読（一斉読）をする。</p> <p>8 次時は、⑦⑧段落を通して、筆者が伝えたいことを見つけていく学習をすることを確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の感想を発表させる。</li> </ul>

7. 板書計画

<p>⑥このように 伝えられること 伝えられないこと</p> <p>目的におうじて切りかえながら放送している</p> <p>(まとめ)</p> <p>アップでは、細かい部分の様子は分かるが、うつさされていない多くの部分は分からない。</p> <p>ルーズでは、広いはんいの様子は分かるが、細かい部分の様子は分からない。</p> <p>アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがあり、目的におうじて使い分けている。</p>	<p>ルーズの写真</p>	<p>アップの写真</p>	<p>アップとルーズでは、どんなちがいがあのか読み取ろう。</p> <p>アップとルーズで伝える 中谷日出</p>
	<p>○勝ったチームのおうえん席</p> <p>○大小の旗やたれまく</p> <p>○立ち上がっている観客とそれに向かって手をあげる選手たち</p> <p>○一体となって勝利を喜び合っている</p> <p>広いはんいの様子</p> <p>(細かい部分)</p> <p>○各選手の顔つきや視線</p> <p>○感じられる気持ち</p>	<p>○ゴールを決めた選手が両手を広げて走っている</p> <p>○ユニホームは風をはらんでいる</p> <p>○口を大きく開けている</p> <p>○全身で喜びを表しながら走っている</p> <p>細かい部分の様子</p> <p>しかし</p> <p>うつさされていない多くの部分</p> <p>○ゴールを決められたチームの様子</p> <p>○おうえん席の様子</p> <p>分かること</p> <p>分らないこと</p>	

